

フェリックス、小山で開発・製造

耳たぶにカイロ リラックス効果

弾第1弾 自社ブランド

使い捨てカイロ用資材製造販売のフェリックス（東京都中央区、宮下洋一社長）は、初の自社ブランド「RelaxQ（リラックスキュー）」の第1弾製品「ほっとイヤリング」を開発し、今月試験販売を始める。耳たぶや疲労感のある部位に張るとリラックス効果があるという製品で、小山市外城の開発拠点で開発・製造を手がけた。同社は「小山発の自社ブランドとして売り込んでいきたい」としている。（須藤健人）

即効性、安全性を実現

同社によると、防寒用使い捨てカイロの国内市場は、厳しい価格競争にさらされている。一方で消費者の健康志向の高まりと、通年販売が見込めるリラクセ



自社ブランド製品の「ほっとイヤリング」を手にする
宮下社長＝小山市

ーション用カイロは伸長の兆しを見せているという。新製品は、縦横ともに2・8センチの花びら型で、耳たぶに15分程度貼り付ける用法を推奨している。リラクセーション用製品の開発で得たノウハウを自社ブランド製品に生かした。強みである温度調整の技術によって、身に付けてからわずか30秒で適温の52度まで上げられる品質と、過度な高温を防ぐ安全性を実現したとしている。

道に詰まらないような安全性を確保するためだという。

今月7日～9月22日、クラウドファンディング（CF）サイトの「マクアケ」を活用して試験販売する。5色6セット入りで、希望小売価格は1320円。自社の電子商取引（EC）サイトも立ち上げており、今秋には一般販売を開始する予定。交流サイト（SNS）でのPR活動にも力を入れる。

宮下社長は「若い女性向けの調査では、贈答用としても需要が見込める。将来的に胃腸の働きを活性化させる新製品なども展開していきたい」としている。